



適用病害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロルピリホスを含む農業の総使用回数
りんご	シンクイムシ類 ハマキムシ類 クワコナカイガラムシ リンゴワタムシ ケムシ類	3000倍	200~700ℓ/10a	収穫45日前まで	1回	散布	1回
なし	シンクイムシ類 ハマキムシ類 クワコナカイガラムシ	3000~4000倍		収穫30日前まで	3回以内		3回以内
もも	シンクイムシ類 ハマキムシ類 ウメシロカイガラムシ	3000倍		収穫14日前まで	5回以内		5回以内
ネクタリン	シンクイムシ類 ハマキムシ類			2回以内	2回以内		
すもも	シンクイムシ類 ウメシロカイガラムシ			2回以内	2回以内		
みかん (施設栽培)	ミカンキイロアザミウマ			2回以内	2回以内		
みかん (露地栽培)	クワゴマダラヒトリ カイガラムシ類	2000倍		収穫30日前まで			
かんきつ (みかんを除く)	ミカンキイロアザミウマ	2000~3000倍		収穫60日前まで	1回		1回
ブルーベリー	カイガラムシ類	3000倍		収穫14日前まで	2回以内		2回以内
かりん	ナシヒメシンクイ			2回以内	2回以内		
りんどう	リンドウホソハマキ		100~300ℓ/10a	—			





## ⚠ 効果・薬害等の注意

- 本剤の所定量に水を加え、よくかきまぜてから散布する。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
  - ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにする。
  - ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさける。
  - ③関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。
- 水源池等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意する。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指示を受ける事が望ましい。

## ⚠ 安全使用上の注意

- 医薬用外劇物** 取扱いには十分注意する。  
誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせる。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗する。
- 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用する。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。

**治療法**…硫酸アトロピン製剤の投与が有効（動物実験で報告）。

**魚毒性等**…水産動植物（甲殻類）に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼、海域及び養殖池に本剤が飛散、流入するおそれのある場所では使用しない。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

**保管**…密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼・乾燥した所。カギをかける。盗難、紛失の際には警察に届け出る。

- PRTR法**
- 火災時は、適切な保護具を着用し消火剤（泡・炭酸ガス・粉末）で消火に努める。
  - 漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収する。
  - 移送取扱いは、ていねいに行う。

